

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	平安女学院高等学校
所在地	京都市上京区下立売通烏丸西入五丁目町172-2
電話番号	075-414-8111

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>キリスト教精神に基づく人間教育を基盤としつつ、今日もなお社会的制約を受けている女性のための教育の追及。 建学の精神「知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」 教育目標「いのちを大切に」「愛と平和を実践できる」人間の育成</p>																																										
<p>(2) 本校の特色及び 将来展望</p>	<p>「育てたい生徒像」 ・自己の生存価値を自覚し（自尊感情）同様に他者の存在を重んじ、他者の置かれた状態に関心を寄せる（共感力）ことができる生徒 ・自分で考える力を養うために知識と経験を積み、自分で考えたことを適切な言葉を用いて他者に伝える（対話力）ことができる生徒 ・平和の大切さを学び、平和の手作りとして行動できる生徒 「教育活動」 ・持続可能な未来の社会を形成する者として、変革する力と協働する力を基礎学力と多種多様な経験を通じて育てる教育を行う ・学校生活全領域、とりわけ学習活動を通じて主体的に生きる力の育成を目指す。そのために系統性と一貫性を重視したカリキュラムの策定を行う 「求める生徒像」 ・本校の教育理念に賛同する生徒を求めます ・自分自身の事ばかりでなく、他人の事にも思いやることのできる生徒を求めます ・自分自身の目標を見出し、達成に向けて進もうとしている生徒を求めます</p>																																										
<p>(3) ・令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり <b>なし</b></p> <p>・前回改定 平成23年度</p>	<table border="1"> <tr> <td>【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>審査料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100,000</td> <td>20,000</td> <td>580,000</td> <td>175,000</td> <td>755,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>580,000</td> <td>175,000</td> <td>755,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>580,000</td> <td>175,000</td> <td>755,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料		100,000	20,000	580,000	175,000	755,000		【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					580,000	175,000	755,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					580,000	175,000	755,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料																																					
	100,000	20,000	580,000	175,000	755,000																																						
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			580,000	175,000	755,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			580,000	175,000	755,000																																						
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>学費は値上げは据え置きとする。諸費納入も父母負担の軽減に向けた努力を行なう。引き続き内部経費の削減、補助金、寄付金の増額に取り組む。</p>																																										
<p>(4) 教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況</p>	<p>学習形態の如何を問わず、学習意欲を引き出すルートは好奇心と感動の二つを連結させる授業展開を行う事である。これを協働学習に組み込む方法を各教科で展開できるようにしていきたい。生徒の人間関係が作れていない中では協働学習は成立しにくい、協働学習を組み立てることで関係性を作る試みも可能である。全教科全員が授業全体を改善するというよりも、部分的改善から全員が始める方向で臨むことにより「新しい学ぶ」の実践を始める。</p>																																										
<p>(5) 令和7年度の保護者 負担軽減策及び考え方</p>	<p>京都府が実施している「あんしん修学支援制度」と学院給付奨学金を併せ、低所得者世帯の授業料無償化に取り組んでいる。2020年度より、府内在住の年収590万円未満程度世帯については授業料58万円、教育充実費17.5万円を無償とする。</p> <p>従前の学院独自の奨学金制度は以下の通り。 ・平安女学院給付奨学金 ・平安女学院貸与奨学金</p>																																										
<p>(6) 今後5年程度の保護者 負担軽減計画</p>	<p>学費値上げを行わずに引き続き生徒募集に尽力し学納金収入、補助金収入の増額に取り組むと同時に、学債を発行し寄付金の増収を図り、納付金の削減に努力する。</p>																																										